

編輯だより

○新涼城に入り、赤トンホがすいすいと飛ぶ季節になりました。とは云ひ乍ら矢つ張り暑い事は暑い。此處一ヶ月ばかりは猶流汗との闘争を餘儀なくされるでせう。

讀者諸君の近況は果して如何。

○暑氣に當てられた故でもありませんが、先月號では40頁宮原氏の記事中及42頁江畑氏の記事中挿入すべき寫眞と圖面とな落ちてしまつて申譯ありませんでした。筆者並に讀者諸彦に陳謝します。

○工事用材料及機械を、國産品にすべきか舶來品にすべきか。經濟困難、國産愛用の聲甚に滿つる時、眞接工事に關係するもの、等しく考慮せねばならぬ問題でせう。工事を經濟的に施工する即ち最少の國富を以て最大最良の工事を竣成せしむる目的の爲には、所謂國産愛用説と相容れぬ場合もあるでせうし又、國産の材料や機械で舶來品を使用したより以上の効果を收め得る場合もあるでせう。

此の問題に對して工事關係者の常識的基準を求むべく本誌は去る七月斯界の各先輩實際家に照會を發してその是非とする處を窺いました。即ち本號巻頭の「國産品か舶來品か」が大れです。暑熱の際にも拘はらず寄書せられ本誌の企てを汪んにして下さつた方々に感謝する次第です。

○Kill Van Kull 橋工事の記事は、經育港務局橋梁課主任技師 O. H. Ammann 氏の筆になる同橋第一回工事報告書で、先月掲載のハドソン橋工事報告書と共に經育のパー老教授から我が那波光輝博士に贈られたものです。博士の好意と清水幸一郎氏の手を煩して此處に掲載出來た事を幸福に思ひます。

○愛宕式隧道掘鑿法の創案者として親しく愛宕隧道開鑿工事を設計施工された杉山技師から、工事の概要記事を戴きました。

愛宕隧道は勿論清才とか丹那に比べれば、極めて小さなトンネルです。然し此の隧道工事に對する社會の期待は、僅か30尺に過ぎない土冠りを残してその直上の放送局を移轉する事なく如何にして之を掘鑿するかと云ふ處にかゝつてゐました。之に對して杉山技師が苦心考究の結果、愛宕式掘鑿法なる本文に記された様な特殊の工法を案出され、聊かの事故をも惹起する事なく之を竣成されたのであります。

記者は一日技師を愛宕山の詰所に訪れ、その創案に係る互細の説明を頂いたのですが、概略は技師の記事に盡されてゐるし、紙面の都合もあつて掲載しませんでした。今回の工事は隧道掘鑿に於ける一進歩として永久に記念されべきでせう。杉山技師並に之が成功に助力された人々の勞を多とします。

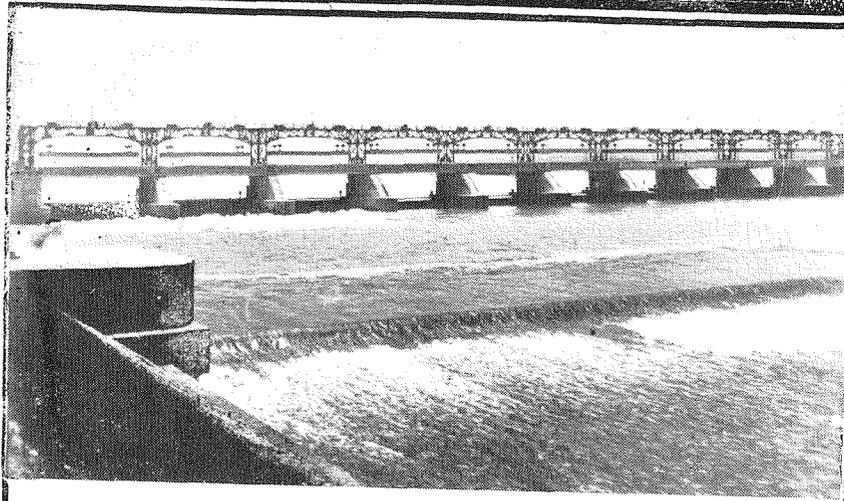
( )

同業「日立評論」で、七月から「日立機械評論」と云ふ雑誌を創刊しました。從來日立評論の一部を占めてゐた機械に關する記事の獨立です。四六倍判で年四回、日立評論社發行。右御紹介までに。

|   |   |
|---|---|
| 土建 工事畫報 第六卷 第九號<br>木架 定價七十錢 (稅二錢)   |   |
| 毎月一回一日發行 一ヶ年十二册發行   |   |
| 購 讀 料<br>壹 部 七 十 錢 稅二錢<br>參ヶ月 貳 圓 稅 共<br>六ヶ月 四 圓 同<br>一ヶ年 八 圓 同<br>(外國ハ一部稅共七十八錢)                                    |   |
| 注   | 注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による |
| 昭和五年八月廿六日印刷納本<br>昭和五年九月一日發行<br>編輯兼印刷發行人 岡 崎 保 吉<br>東京府北豐島郡長崎町三六二九<br>印刷所 共同印刷株式會社<br>東京市小石川區久堅町百八番地                 |   |
| 發行所 工事畫報社<br>東京市麴町區丸ノ内三丁目六番地<br>電話丸ノ内二六三三番<br>振替東京七〇貳六五番<br>廣 告 部 關 西 支 局<br>大 阪 市 北 區 高 垣 町 七 四<br>電 話 北 三 二 九 三 番 |   |
| 大賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北隆館  |   |

播

鐵



内務省 信濃川可動堰鋼扉並ニ其構脚橋 (弊所製作及架設)

磨

骨

### 營業種目

- 一、船舶新造修繕
- 一、諸機械汽罐製造販賣
- 一、橋梁、鐵骨建築工事
- 一、油槽水槽瓦斯槽工事
- 一、水壓鐵管送電鐵柱工事
- 一、土木工事



## 株式 播磨造船所 會社

兵庫縣赤穂郡相生町  
電話相生一四・一五・一六・二二

### 神戸事務所

神戸市仲町三六 興銀ビルディング  
電話三宮 三四五〇

### 東京事務所

東京市・麴町區・丸ノ内東京海上  
ビルディング 電話丸ノ内 二二七

專賣特許 油谷式

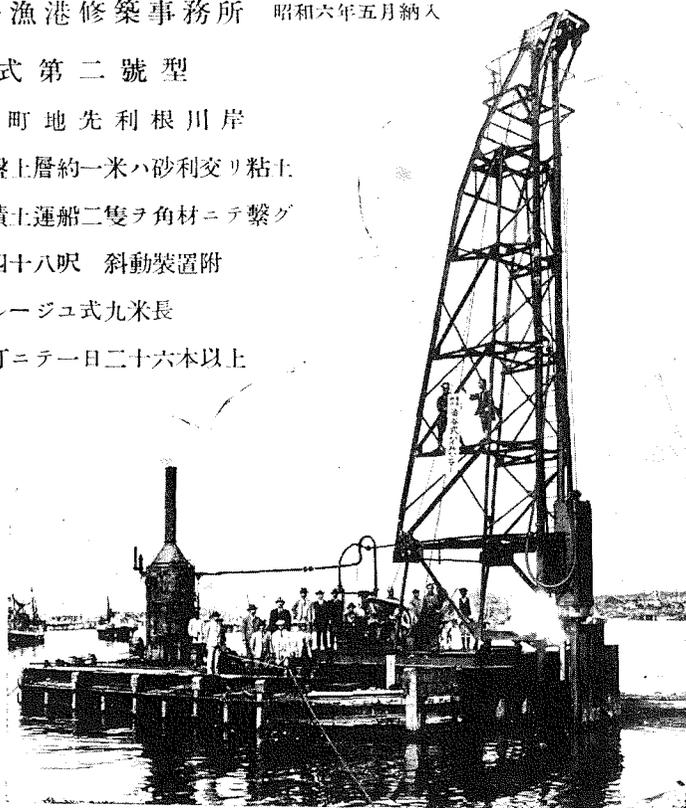
# パイルハンマー、ドライバー

最近御採用先 銚子漁港修築事務所 昭和六年五月納入

## 油谷式第二號型

現場 銚子町地先利根川岸  
地盤 土丹盤上層約一米ハ砂利交リ粘土  
台船 四坪積土運船二隻ヲ角材ニテ繋グ  
櫓 總高四十八呎 斜動裝置附  
鋼矢板 テルルージユ式九米長  
打込數 二本打ニテ一日二十六本以上

● ● ●  
音 故 打  
響 障 擊  
僅 絕 強  
少 無 大



土木建築用諸機械製作

株式會社 油谷工務所

總代理店

株式會社 高田商會

本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地  
電話 丸ノ内 (23) 1321 (代表)

大阪支店 大阪市北區中之島二丁目二十番地  
電話 本局 480 481

支店出張所

名古屋、門司、小樽、吳、神戸、横須賀、舞鶴  
佐世保、臺北、大連、上海、倫敦、紐育、漢堡

# 鐵防鑄・混凝土防之水

■特性

乾燥迅速 皮膜強靱  
 強靱彈力に富む  
 附着力強大 耐久力永続的  
 防水力絶對的 使用法簡易

■抵抗力

酸 アルカリ 鹽水 沼氣 アムモニア等に對し強大なる抵抗力を有す

■價格低廉 品質外來品を凌駕す

應用範圍 (土木工事) 水力發電 護岸改修 堰堤 貯水池 橋梁 高架鐵道 地下鐵道 上下水道

■(建築工事)

鐵骨の防錆 基礎 地下室 陸屋根 水槽 淨化槽等の防水

■多年諸官廳 各都市 全國諸工場へ納入し 頗る好評を博せり

御要求次第説明書御送付す。

保護塗料

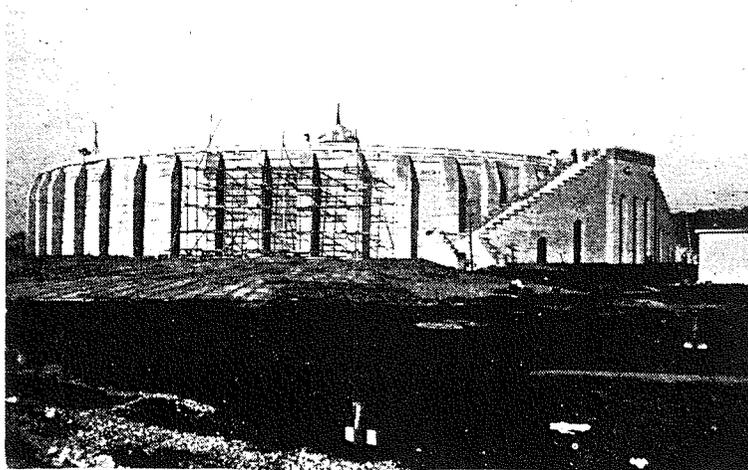
イナク  
 ナイ  
 ク  
 ト  
 シ

耐酸  
 耐鹽  
 耐アルカリ

東京市芝區高輪南町五十三番地  
 (電話高輪44) 三七七番

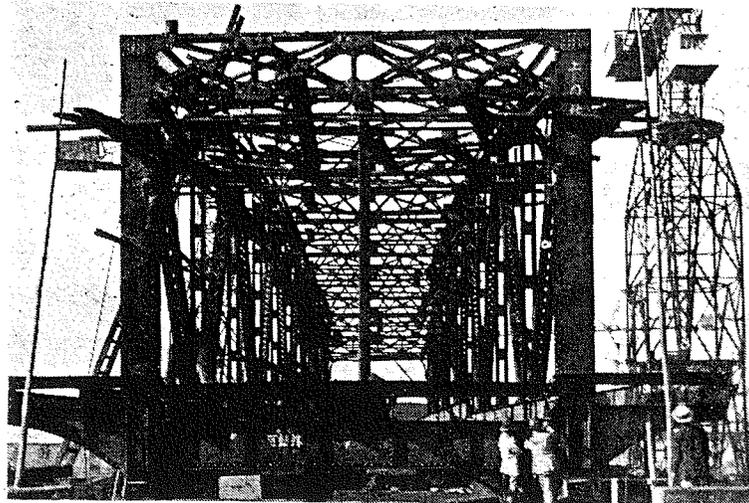
吉田組

# 横濱船渠株式会社



鐵骨、鐵構  
鐵柱、鐵塔

東京市和田淨水池



橋梁、タンク  
類、電氣銲接  
鐵管（水道用）  
（瓦斯用）

京成電車橋梁工事

横濱M. A. N. デイゼル機關  
重油噴燃裝置



艦船建造修理  
諸機械製作修理

|       |                  |                |
|-------|------------------|----------------|
| 本社    | 横濱市中區長住町三番地      | 電話本局1431(代表)   |
| 東京出張所 | 東京市丸ノ内一ノ六・海上ビル新館 | 電話丸ノ内4672.4625 |
| 大阪出張所 | 大阪市北區宗是町一・大阪ビル   | 電話土佐堀4393      |

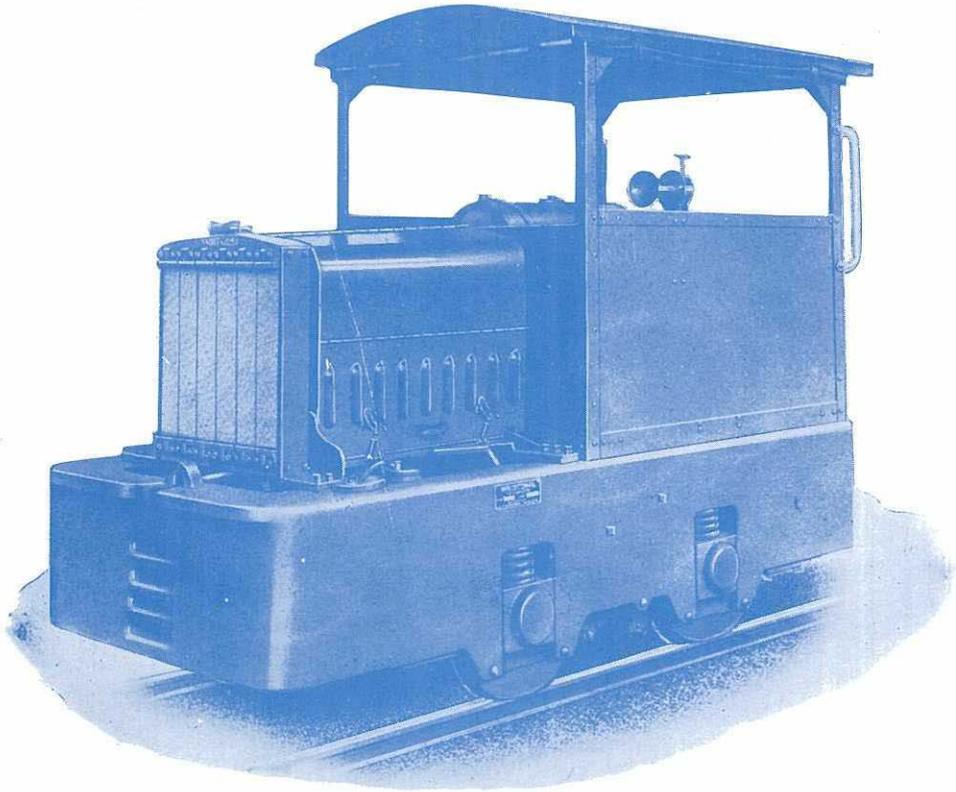
# WHITCOMB GASOLINE LOCOMOTIVE

GEO. D. WHITCOMB CO., ROCHELLE ILL. U.S.A.

## ホキットコム 瓦斯倫 機關車

米國 ジョージ デイー ホキットコム會社製

土木、鐵道、鑛山、工場、森林等ノ現場ニ使用セラル



(上圖ハ 3½ 噸—CS 4 及 4½ 噸—CS 4 最新小型機關車ヲ示ス)

**本機** ハ構造ノ堅牢無比ナルト其ノ經濟的機能ヲ有スル點ニ於テ斯界ニ冠タリ  
**納入先** 鐵道省、内務省、農林省及帝室林野局等官廳ヲ始メ各會社、鑛山ニ納入  
セルモノ實ニ貳百餘臺ニ及ビ優秀ナル成績ヲ實證セラル  
**型式** 3½ 噸車ヨリ 30 噸車迄、軌間ハ御指定ニ應ズ

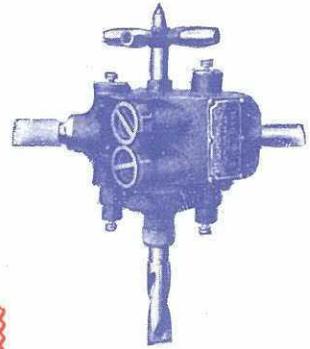
日本及滿州總代理店

### 淺野物産株式會社 機械部

東京一丸ノ内海上ビルディング

大阪一瓦町山口ビルディング

# CLEVELAND FOUR PISTON AIR DRILLS



## “クリブランド” 空気圧縮機の特長

1. エアー、ドリルの胴體は一ヶの鑄物よりなり。
  2. 一ヶのヴルブにより4ヶのピストンを操作してエアーを一様にシリンダーに送る。
  3. 各ピストンはボールベヤリング装置を有し連桿に連結されてある。
  4. 他社製4ピストンエアードリルに比して極く少數の部分品よりなる
  5. 逆にも聯動さす事を得。
- 優秀なる此エアー、ドリルは各種鐵工場建築工事用として完全理想的のものなり。

乞  
御  
照  
會

*Cleveland Pneumatic Tool Company*

東洋總代理店

株式會社 **アンドリュウス商會**

支社 大阪市西區江戸堀通三丁目一八番地

本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五

名古屋・札幌・小倉・京城・大連・紐育

